

おかげさまで20周年
20th
Anniversary

とやま虹の会だより

<http://www.nijinokai.net/>

とやま虹の会TVを更新しました

2013.7.11

55

とやま虹の会広報誌

第20回 とやま虹の会 納涼祭

繋げよう虹の架け橋 感謝をこめて20年
…いつ盛り上がるの? 今でしょ!



ぞうご期待!

舞台も密かに企画中!

水橋チアリーディング様・綾の会様・水橋高校プラスバンド様

例年より10分早いには訳がある?

平成25年8月10日(土) 午後5時50分

●焼きそば ●焼き鳥 ●好評のコロッケ ●アイスクリーム ●フルーチェ ●冷たい飲み物 等々

バスが出ます

コース1番 レインボー[5:20] ▶ 旧三郷農協[5:24] ▶ ニツ屋 農協機械倉庫[5:28] ▶ 小出公民館[5:32] ▶ 上条新町公民館[5:34] ▶ 旧上条農協[5:36] ▶ 三城中横苗センター前[5:37] ▶ レインボー[5:42]
コース2番 レインボー[5:20] ▶ 清水堂の嶋田酒店[5:26] ▶ 三郷駅前ふくやま食堂[5:32] ▶ 三郷郵便局前[5:33] ▶ 新堀公民館[5:36] ▶ 金尾新公民館[5:38] ▶ レインボー[5:40]

- 介護老人保健施設 レインボー
- 水橋南地域包括支援センター
- 特別養護老人ホーム しらいわ苑
- 訪問看護ステーション にじ

- しらいわ苑 ホームヘルパーセンター
- 水橋介護保険相談所
- 小規模ケア施設 市江やすらぎの郷
- 小規模ケア施設 中村町ぬくもりの郷

- デイサービス かけはし
- 生きがい対応型デイサービス かけはし
- 生活サポートセンター かけはし
- LSA かけはし

●お問い合わせ先● 法人事務局 ☎076-479-2082

新人職員 インタビュー

Q1 趣味はなんですか？

Q2 どんな職員になりたいですか？



1月入社

しらいわ苑デイサービス勤務
理学療法士

藤井 啓行 (ふじい ひろゆき)

A1 散歩

A2 よろしくをお願いします

3月入社

レインボーリハビリ勤務
作業療法士

澤田石 結 (さわたいし ゆい)

A1 まんが、料理、外食

A2 利用者様の意志や訴えによりそい、
楽しく笑顔に過して頂ける様に
利用者様の「出来そう、出来る、や
りたい」にしっかりと目を向けら
れる職員になりたいです。



6月入社

しらいわ苑ショートステイ勤務
介護福祉士

奥村 美代子 (おくむら みよこ)

A1 パッチワーク

A2 利用者から信用、信頼される
職員になりたいです。



6月入社

訪問看護ステーションにじ勤務
看護師

細川 君子 (ほそかわ きみこ)

A1 今は男の子 3 人の母親なので、自
分の趣味よりも子供たちと一緒に
遊ぶことが楽しいです。

A2 こんな私ですが…利用者様に信頼
して頂けるような職員になりたい
と思いますので、よろしくお願い
いたします。職員になりたいです。

とやま虹の会 20周年記念インタビュー 第4弾

4回目の今回は、レインボーとしらいわ苑の建設に尽力され、レインボーの副施設長を務めておられた芝木正幸さんです。

Q しらいわ苑開設時に、利用者さんが利用しやすい環境や地域にどのように貢献していこうと考えていましたか？

A しらいわ苑は在宅介護が困難になられた方が利用されます。利用される方が、いつでも安心して毎日を過ごせ「わが家」だと思ってもらえるように、様々な工夫をしました。建物はすべて平屋建てで、のどかな田園風景を見ながらゆったり過ごせる広い空間を確保しました。また、土に親しむリハビリ庭園をはじめ、生きがいつくりの趣味や作業の工房の場となり、加えて地域の方にも来てもらい風通しのよい環境にできればと、地域交流スペースを配置しました。当時、大阪から来た備品業者の方が、全国の特養を回ってきたが、ここが一番立派と言われたのがうれしかったです。食器はプラスチックではなく陶器のものを使うようにしたり、多床室でもプライバシーを確保できるように障子で仕切り、家庭的な暖かさの中で過ごしてもらうことを意識しました。家族会もいち早く作りました。みんなで相談しながら進め、一方的ではない、共に創る福祉をしらいわ苑はめざしていました。



芝木 正幸 さん

Q しらいわ苑開設時の苦労話をお聞かせください。

A 国庫補助申請、土地収用（非課税対策）、農地転用、農業振興地域除外、国有地との土地交換、共同募金指定寄付（非課税対策）、福祉医療機構からの資金借入など、作成しなければならない書類の量が相当ありました。
当時の措置制度のもとでは、市から紹介される方を原則断らずに受け入れていました。そのため重度の方の紹介が多くなると、介護現場の負担が大きくなりました。また、年々入所する女性の

比率が高まり、男女の部屋割りの問題などで、スムーズに利用してもらうために、担当スタッフとは調整に苦労した思い出があります。

Q 平成12年には措置制度から介護保険制度に代わり、大きな変革に立たされましたが、どのような出来事が施設で起きていたのでしょうか？

A 介護保険の導入で利用される方が自由に施設を選べるようになり、申し込み窓口がこれまでの市役所から施設自体に変わり、しらいわ苑の入所待機者が一気に増えました。事務にとっては、請求の仕方・会計などの内容が変わり、移行作業でしばらく混乱しました。利用者負担の在り方も大きく変わりました。入所者の収入に応じた利用料から、改訂後は誰でも1割負担になり、社会保障の後退を残念に思いました。しかし、利用者さんが受けられるサービスについては、すでにしらいわ苑には「多年にわたり社会に貢献し経験豊富な高齢者を敬愛する」という老人福祉の精神が、施設運営の基本理念にありましたので、制度が変更になっても介護者が入所者さんに接する気持ちは一貫していました。

Q 在職中に一番心に残っている出来事はどのようなことですか？

A 虹の会の法人設立と、県内の老健でただ一つみんなの寄付で作ったレインボー建設です。短期間に書類提出を求められることばかりで、全力疾走の様な毎日でした。昼間は医療生協本部事務局の仕事をし、それが終わってから、法人設立と施設建設の仕事をするという兼務の状況が続きましたが、いつも「願わなければ叶わない」と自分に言い聞かせ、どんな困難があっても絶対に間に合わせて、法人設立と施設建設を実現したいとの強い気持ちを持ち続けることができました。水橋の地に福祉の拠点を作りたいという、みんなの思いが一つになり、わずか6ヶ月で法人設立とそれに続いてレインボー建設ができたのだと思います。当時はあまりに忙しい毎日でしたので、レインボーが完成して落ち着いたたら、映画の終盤でのどかなお正月風景が映る「男はつらいよ」を映画館でゆっくり見ることを楽しみにしていました。(笑)

Q 集団ケアから、個別ケアへと介護サービスが変わりつつある今、とやま虹の会の理念から何を作り上げていかなければいけないのでしょうか？

A 集団ケアと個別ケアにはそれぞれ長所、短所はあると思います。なかなか正解を出しづらいと思いますが、意見をぶつけ合い、型にはめず、試行錯誤しながら、その時々に応じたものを選ぶ臨機応変な考えを持ってほしいです。利用者さん一人ひとりの「いのち・くらし・生きがい」を常に意識しながら、日々の関わりを持ってもらいたいです。どれひとつが欠けても、今日はちょっとよくない日だったなと利用者さんは感じると思います。集団ケアであっても個別ケアであっても、利用者さんに人生の主人公として「ああ、今日一日生きていて良かったなあ！」と思ってもらうためには、気持ちを受け止め、わかってあげ、利用者さんへの温かな関わりの一点で突破するしかないと思います。

Q とやま虹の会の10年後は、地域でどのような役割を果たしていると思いますか？

A ここが他とは違うという、とやま虹の会のブランドを見すえていってほしいと思います。その理念と成果を虹の会だより、ホームページ、納涼祭等の各種行事や家族会などを通じて発信し、地域の方々に虹の会は頑張っていると伝える。また、すべてオープンにして見てもらい、苦情も言ってもらったらいいいですね。問題点をキャッチボールしながら解決して行く、それによって地域の方、家族、職員が一体となった介護をしていければいいと思います。10年後20年後も虹の会を利用した方々から「ここは何か雰囲気が良くて安心できる！」と思ってもらえるような施設であって欲しいです。もっともっと発展して、色々な事業展開をしていきたいと思っています。虹の会の施設を、他の施設が見習いたい、というふうになって欲しいです。

Q 現在の生きがいは何でしょうか？

A 三年前に体調を崩しましたが、手術のおかげで、ようやく最近体調が良くなってきました。家の中の歩行も不自由だったのが、ウォーキングもできるようになり、日々健康な体で朝を迎えられる喜びを感じています。生命の不思議さに感謝しつつ、小さな出来事にも幸せを感じるようになりました。病気になったことも「人生」と思い、前向きにリハビリを続けています。大病を経験したことで、普通にくらせることが、如何にありがたいことかを痛感しています。



介護老人保健施設

レインボー

EVENT

レインボーでは、利用者に合わせ様々な働きかけを行なっています。

例えば、入所される前は畑仕事を生きがいにされていた入所者に、施設の中庭に小さな菜園を作ってもらい野菜や花を育てたり、それらを使って調理していただいています。また、施設内の生活だけでは閉塞的になるので、時には外出し、外の空気を胸いっぱい吸って動物と触れ合ったり咲き乱れる花や新緑など、いい景色に気分転換していただいています。

皆さん、生き生きとした表情になり、職員も元気とやる気をもらうことが多いです。

【連絡先】富山市水橋新堀1番地 TEL 076-478-4784



焼き加減は最高です。



どondon焼き
昔よく作ったわ



あるべん村に行ってきました。



芸術作品作成中



腹ペコやぎに
餌をあげました。



園芸のためなら



え〜んやこら



さらに、床ずれや無理のない安楽な姿勢や排泄に使用するオムツなどは全員が同じではなく、入所者の人数分だけパターンがあり基本的なことだけでは対応が不十分になるので、利用者ひとりひとりに合ったケアをそれぞれの職種が協力して日々勉強しています。



新人排泄学習会



漏れないポイントはギャザーです。



正しい位置にあてられているか心配です



車椅子での安楽な姿勢保持を統一できるように



ベッドでの安楽な姿勢保持を統一できるように

特別養護老人ホーム

しらいわ苑

EVENT

しらいわ苑の今年度はやっぱりお花見から。桜の咲くのが早く、散るのも早いのでは、と心配しましたが、お花見最終日まできれいな桜が残っており、みんなで楽しめました。その他には、手作りおやつを作ったり、三郷小運動会にも招待されました。夏の納涼祭も楽しみです。



お花見いいお天気でした



やっぱり松川べりの桜はきれいだね



三郷小運動会の応援に来ましたよ



はい、チーズ!



美味しくな〜れ!!



天気がいいので日光浴

麵屋サガミで美味しいお蕎麦

デイ・ショート

母の日を記念して、デイ・ショートそれぞれの部署で手作り企画をおこないました。

ショート寿町は、ちらし寿司を作りました。皆さんの協力で美味しくなりました。出来たちらし寿司は、その日の昼食にお出ししました。

デイサービスは、パフェを作りました。初めて食べる方もおり、美味しかったと好評でした。これからも楽しい企画が目白押しです。



母の日にちなんでちらし寿司を作りました

母の日の記念にパフェを作りました



おいしゅうできました



レアチーズケーキを作っています



しらいわ苑 ホームヘルパー センター特集

HELPER



【連絡先】富山市水橋新堀17番の1 TEL 076-478-4636

① 治療食（腎臓病食）（カリウム・塩分制限） お任せください！

色も味も薄いですが、ダシが効いています。安心して食べて頂けますよ！「楽しんで美味しく食べていただけること」を追求し、治療食でも美味しくいただけてもらえるように日々、料理の研究をしています。利用者さんからも「この味いい味付けやわ」と嬉しい言葉をいただいています。利用者さんの声が、何よりも励みになります。

blogでもヘルパーの作った治療食を紹介していますので、是非見て下さい。



見て味わい、食べて味わい心から満足していただけるように...

② 様々な方にご利用いただけます。

介護認定を受けている方以外にも、自立支援、障害福祉サービス、自由契約といったサービスもご利用いただけます。



健康は「食」から

③ iPad を使ったコミュニケーション

iPadを利用して、利用者さんと漢字のクイズをしたり、地図のクイズをして脳トレーニングをしています。他にもレシピのアプリを使って一緒に献立を考えたりしています。視覚的、聴覚的に分かりやすいツールで、楽しみながら新しいコミュニケーションを図っています。

利用者さんからは「便利なもんができたわ、楽しいね、わくわくするね」とコメントをもらっています。



地名クイズ。「私ここに行ったことある」と話が盛り上がります。



漢字の書き取りアプリで脳と指先のトレーニング

④ 一緒に調理すると・・・

ヘルパーが一人で調理するのではなく、一緒に今晚のおかずを作ることもあります！

二人で会話しながら作る料理は、隠し味の「会話の調味料」でいつもより何倍もおいしくいただけます。

利用者さんの野菜を切る包丁の音は、心地よいリズムです。さすがお上手です。ヘルパーも勉強になります。



女性はキッチンが「特別な場所」なんです。



一緒に料理することで、よりおいしくなります。

⑤ ちょっとそこまで歩かんけ？

天気のいい日は近くまで散歩に行きます。二人で歩くと会話も弾んでなお楽しいです。普段とは違う会話も散歩ならではのです。この日は近所のサッカー場まで歩きました。こうやって歩いてみると、道沿いの花が咲いたとか近所でも小さな発見がたくさんあります。

風が気持ちいいね



監督になった気分だね(笑)



⑥ ヘルパー集合

下は20代から上は60代まで年齢幅の広い職員が在職しています。。

子育て奮闘中の職員や、市民ランナーの職員や、ダンス好きな職員など様々なキャラクターの職員がいます。

義理と人情に満ちた「はなまるヘルパー」がキッチリテキパキと在宅での生活をサポートします。



はなまるヘルパー集合!!

いつもありがとうございます

ボランティアさん特集

デイサービスかけはしでは次世代との交流も行っています。

かけはし近隣の幼稚園や保育所、小学生や高校生。子どもはそこにいるだけ、見ているだけでもかわいいもので、一緒に手遊び等の交流をすることで、さらに元気をもらいます。

今月は水橋西部保育所さんから年中児・年長児18名のかわいい子どもたちが来てくれました。いつも保育所で歌っている歌やお遊戯を披露してくださったり、肩たたきや手遊びも利用者様と一緒にしました。



法被をきて、元気いっぱいの踊りです。見るだけで元気がでるねー



なんてかわいい手なが...
年齢差80歳？



こんなかわいい手で肩たたきされると、
気持ちがいいね。
肩の痛みも吹っ飛びます。



子どもたち手作りのプレゼントをもらいました。ありがとう。



ありがとう、楽しかったよー、また、来られ〜。

介護食レシピ⑥



黒糖ミルクゼリー

材料

4個分

- 牛乳 400cc
- 黒砂糖(粉状) 50g
- 粉ゼラチン 8g
- 水 40cc

コメント

白砂糖に比べ、黒砂糖にはカルシウム、カリウム、亜鉛、鉄などのミネラルやビタミンB群がバランス良く含まれています。
牛乳と合わせて摂ると、カルシウムの吸収効率が高まります。

作り方

- ①ゼラチンを分量の水でふやかしておく。
- ②牛乳と黒砂糖を鍋に入れ、中火で温めながら溶かす。
(沸騰させないように注意します。)
- ③火を止め、ふやかしたゼラチンを加えてよくかき混ぜて溶かす。
- ④器に流し、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やし固める。